

令和5年10月 1日

布佐南近隣センターだより

ホームページ

No. 132

## ふれあい

布佐南地区まちづくり協議会 〒270-1108 我孫子市布佐平和台4丁目1-30 ☎ 04-7189-3740



## 作品展示内容

- |         |  |
|---------|--|
| □ 書 道   | ・ 日習サークル   |
| □ 陶 芸   | ・ 利根陶房   |
| □ 華 道   | ・ ざ・いけのぼう<br>・ 布佐中学校華道部<br>・ 中村華道教室  |
| □ 編み物   | ・ 河童の会   |
| □ 押し花   | ・ 四季の会   |
| □ つるし   | ・ ひなの和   |
| □ 油彩    | ・ 油彩クラブ“画楽”<br>・ 一般参加（住吉信子）<br>・ 一般参加（小貫敦）   |
| □ 油絵    | ・ 布佐中学校美術部   |
| □ 絵画・工芸 | ・ わだ幼稚園  |
| □ 絵画    | ・ 一般参加（大作勇）<br>・ 一般参加（斎藤守）<br>・ 一般参加（沼尻和枝）<br>・ 一般参加（大作勇）<br>・ 平和台悠悠クラブ<br>・ 特別養護老人ホーム |
| □ 水彩画   | アコモード  |
| □ 水墨画   | ・ 防犯指導員連絡協議会<br>布佐支部   |



## 行事予定

開催日時	行事名	開催日時	行事名
11月 1日(水) 13:30~	避難訓練 ・ 内容：避難訓練、消防訓練、救命処置、地震対策など ・ 参加者：役員：管理人、施設利用団体代表	11月12日(日) 13:30~	映画観賞会 「舟を編む」(2013年4月公開) 主演：松田龍平 第37回日本アカデミー賞 最優秀作品賞
		12月 10日(日) 13:30~	クリスマスコンサート 出演：女声合唱団「ラ・メール」

## 第36回 布佐文化祭

秋の恒例行事、「布佐文化祭」、今年は4年ぶりに芸能発表を行います。地域の皆さんのが盛りだくさんの創作品や芸能を楽しみませんか。

## 日程 作品展示

10月21日(土)10:00~19:00  
10月22日(日)10:00~16:00

## 芸能発表

10月29日(日)11:00~16:00

## 会場 布佐南近隣センター

10月21日(土) 10:30~

★オープニング 和太鼓演奏（坐孫子）	10:00~
★つき餅ふるまい 雑煮、汁粉餅、からみ餅、きな粉餅など	10:30~
★フリーマーケット 衣類、日用雑貨、アクセサリなど	10:30~
★コーヒーバンド 10月21日(土)、22日(日)、29日(日)	

## 芸能発表プログラム

(時間)	(種類)	(出演団体)
・ 11:00~	殺陣	菊竜剣客集団
・ 13:00~	大正琴	音の輪
・ 13:40~	自彌術	いき息会
・ 14:20~	ダンス	ディ・プレイス
・ 14:45~	コーラス	女声合唱団 布佐ポピーズ

令和5年11月~12月

サマーフェスティバル・8月27日(日)

4年ぶりの本格的な「サマーフェスティバル」、さわやかな夏空のもと、和太鼓の演奏とともにオーブンしました。

午前は、地元の多くの子供たちが参加して暑さを忘れて屋内外の遊びやゲームを楽しみました。

午後からはマンドリン、軽音楽、大正琴の演奏と  
フラダンスを楽しみ、そのあとは皆がbingoゲーム  
で景品をゲットしむ楽しい真夏の一日でした！



和太鼓演奏



模擬店



## お楽しみbingo



「平和台4丁目江上駐車場の川合オーナーのご協力に  
心より感謝申し上げます。」

## こどもたちの遊び、ゲーム 演奏、フラダンス

因みに布佐町の耕地面積は水田百六十四町歩、畑百八十八町歩(明治三七年調べ)。各種の生業の中でも、大正末期から始まつたとされる東京行商が、被災地の農家にとつての救世主だったようです。かつて、筆者が早出旅行で布佐駅から列車に乗りこんだとき、安食・小林方面からの行商さんに加えて、布佐駅・湖北駅でも大勢の行商さんが加わり、早朝から混雑していましたことを覚えています。しかし、行商がどのくらい暮しを支えていたのか疑問でした。

『我孫子市史 近現代篇』に掲載されている私の書簡には、具体的な稼ぎの記述がありますので、記事要点を引用させて頂きます。湖北村都部新田の農夫、飯合今吉さん(五十八歳)が北満警備兵として派遣されている同郷の染谷堯(廿一歳)氏に宛てた、昭和十三年八月三日付の見舞い返札書簡です。

未曾有の水害の状況を伝え、十一月八日に、その後の様子、暮らし向きについて率直書き綴

四円、駅前野菜売り一、二円の収入があること等、錢取りのせわしい様子を書き綴ついています。飯合・染谷の両家の数字を照らし合わせて、嘘や誇張がないことが分かります。

『柏市史年表』には、同年四月廿七日、成田・常磐両線に行商専用車両運転開始の記録あります。同年五月廿日、陸軍柏飛行場建設工事のための工事人夫募集 賃金日給一円廿錢。同年の大卒者の初任月給（銀行）は、七十三円であり、工事人夫は卅円、等に比べ、錢取り農家百九十一円、一百廿円の月収は高給取りの範疇に入ります。

因みに昭和十三年の米価は一石当たり三十三円、米作り專業農家、一町歩の平年作は、二十四石、米価七百九十二円、地租百五十八円で年収六百三十四円。対し飯合家の年収は二千二百八十円、一千六百四十円で、標準的專業農家の三・五倍、四・一倍に相当します。

布佐探訪(七十五)

## 水害常習地の農家の錢取り